



イマジン
ロータリー

2022~2023年

国際ロータリー第2790地区

君津ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日
12:30PM~13:30PM
例会場 ハミルトンホテル上総
Tel:0120-51-8365

事務局
〒299-1144君津市東坂田1-3-3-304
Tel:0439-52-8882
Fax:0439-27-0622

Vol.18 No.2201 2022.11.28

令和4年11月 第4例会 曇

開始点鐘 大浦 芳弘副会長
R ソング 手に手つないで
四つのテスト 馬場 孝弘会員

【出席報告】 免除者0名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2201	56	56	33	23	58.92%
2200	56	56	36	20	64.28%
前々回の修正	メイクアップ	0名			64.28%

(敬称略)

していたことから、最初の大先輩の講話で紹介されたものです。いろいろな場で紹介されることも多い教訓なのでお聞きになった方もいらっしゃると思いますが、まずはその内容を紹介いたします。

1. 自ら活動して他を動かしむるは水なり
2. 常に己の進路を求めて止まざるは水なり
3. 障碍に遭いてその勢力を百倍するは水なり
4. 自ら潔くして他の汚れを洗い清濁併せて容るの量あるは水なり
5. 洋として大海を充し、発しては蒸気となり雪に変わり霧と化し凝りては玲瓏たる鏡となり而もその性を失わざるは水なり

会長挨拶

大浦 芳弘 副会長

今週も武田会長欠席のため、代理で会長挨拶を務めさせていただきます。

サッカーの世界カップは、開幕前の盛り上がりがいまいちと感じていましたが、残念ながらコスタリカには敗れたものの、格上のドイツ戦の勝利では大いに盛り上がりました。まだ、予選最終戦のスペイン戦があるので意地を見せてもらいたいと思っています。



今回のワールドカップはベスト8が目標とは言われていたものの、スペインやドイツと一緒に「死の組」で戦うことになり、相当に厳しいだろうと誰もが想像している中でのドイツ戦の逆転勝利でした。前半を何とか耐えて0-1で折り返し、後半は攻めの布陣で見事逆転という内容でした。それぞれの選手が、自分がなすべきことを考えて実行し掴み取った勝利だと思います。

さて、会長挨拶と言われても、会員皆様のお役に立つような立派な話ができる柄でもございませんが、頑張っている日本チームの活躍にも通じるものがある「水5訓」を紹介させていただきます。

この「水5訓」は、私が当時の新日鐵に入社して最初の職場が水を扱う給排水のエンジニアリングを業務と

後程週報にて、文言を見ていただければどういう教訓を述べているのかおわかりになるとと思いますが、その一部を紹介しておきます。

まずは、其の1の「自ら活動して他を動かしむるは水なり」は、水は自ら動くことで周りのものを動かし運んでいくことから、自ら何もしないでは周りの者が動くはずもなく、自ら模範を示すことによって周囲が牽引できるというものです。

其の2の「常に己の進路を求めて止まざるは水なり」は、水はどんな環境の中でもその流れをとめることなく動くことから、自ら努力することで道は拓かれるというものです。

其の3の「障碍に遭いてその勢力を百倍するは水なり」は、水の流れも時によっては障害によって堰き止められることもあります。満々と堰き止められた水はその力を蓄え、決壊時には全てのを押し流す力を発揮します。困難に直面してもあきらめず耐え忍び努力を続けることで困難を突破することができるというものです。

私もこの教訓を覚えてはいるものの、その通りに活動することはなかなかできるものではありません。しかし、ワールドカップに出場している日本の選手は、見事なまでにやってのけていると感じています。皆様の頭の片隅にでも留めていただければと思います、お話しさせていただきました。

国際ロータリー会長 シェニファー・ジョーンズ
ガバナー 小倉 純 夫
ガバナー補佐 梶 暉 芳

会長 武田 富士子
会長エレクト 福田 順也
副会長 大浦 芳弘

幹事 大川 裕士
編集 原田 健夫

報 告

1. 11月22日(火)に駅前花壇花植えが無事終わりました。月曜日に雨で延期になり、学校との協議で急遽翌日の実施となりましたが、皆様のご協力で綺麗に植えることができました。ありがとうございました。
2. 11月23日(水)第2回青少年交換オリエンテーションが千葉市文化センターで開催されました。出席された青少年奉仕委員会茂田委員長、カウンセラーの内山会員、お疲れ様でした。
3. 11月26日(土)、第5グループ情報研究会が東京ベイプラザホテルで開催されました。今回は、入会5年未満の方がメインでの開催でしたので、武田会長・大川幹事他、秋元直樹会員、秋山会員、木内会員、福島会員が出席してきました。後程、秋山会員より報告をお願いします。

幹 事 報 告

大川 裕士 幹事

〈配布物〉

1. 例会プログラム

〈回 覧〉

1. 君津RC週報
2. 第5グループ週報
3. RYLAセミナー募集の案内
4. 忘年例会の出欠について
5. ロータリー冊子(英語版)

委員会報告

第5グループ情報研修会について

秋山 大輔 会員

11月26日、第2790地区第5グループの情報研修会に参加してまいりましたのでご報告いたします。

主に入会5年未満の経験の浅い会員向けに、講師の柏西RCの水野晋治会長と東京中央RCの太田嘉正前年度会長の「ロータリーを楽しもう」という内容の事例発表を拝聴しました。

ロータリー活動を通じて目的を同じとする同士が業



種の垣根を越えて友情をはぐくむことができる場であること、そのために例会には積極的に参加し、更に可能であれば全国大会やメイキャップをし他クラブ会員との交流を自発的に深めることで、よりロータリー活動を楽しむことができるようになるとお話してくださいました。

当日はテーブルごとに他クラブの会員と共にグループ討議、発表を行い短い時間ではありましたが友好を深めることができました。このような機会がありましたらまた参加してみたいと思いました。新たな気づきもあるのではと感じましたので、入会年数に関わらず是非参加してみたいかがでしょうか。

◎参加者：武田会長、大川幹事、秋元直樹会員、
福島大介会員、木内高茂会員、
秋山大輔会員

◎場 所：東京ベイプラザホテル

公共イメージ向上委員会

ロータリーの友11月号紹介

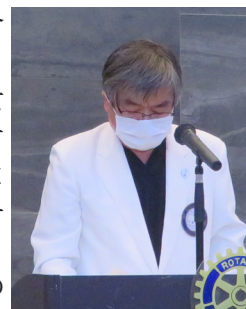
永嶌 嘉嗣 会員

ロータリーの友11月号の紹介をさせていただきます。

まず横組み8ページから、女性の尊厳を再認識しようと題するプログラムが紹介されています。これはナイジェリアの母子健康保険に関するプロジェクトのようです。8ページ下段中央のあたりですが、ナイジェリアでは出産前後にきちんとしたケアがなされていないため新生児の死亡率が高いこと、そのことに胸を痛めているというナイジェリアの方の訴えにドイツから参加されていた方が協力するといったのがきっかけで始まったようです。当初はナイジェリア北部のカドゥナ州で小規模に始まったようです。当時ナイジェリアからガバナーとして参加していた方は、自分がガバナーとしてプロジェクトを手掛けたらそれで終わりだと思っていたそうです。それが人生の大半にわたる大プロジェクトとなり、驚いているようであります。

すべては28年前の偶然の出会いから始まり、ロータリー財団としては過去2番目の大規模プログラム補助金として「ナイジェリアの家族の健康に寄り添う」に200万ドルを授与することを今年6月に発表しました。このプロジェクトは対象とする地域における母子の死亡率を最終的に25%減少させたいと考えています。

ちなみに日本では妊産婦死亡率は10万対で3.9となっており、これより少ない国も少しはありますが、世



界トップレベルです。また新生児死亡率も大正末期までは千対で150以上でしたが、現在は1.0となっておりこれも世界トップレベルです。したがって25%の改善というのは望むべくもなく、これは発展途上国の母子健康保険という特殊なことに関するプログラムならではと言えます。

ナイジェリアロータリアンとローターアクターは、現地での活動を調整し研修を監督、啓発活動を主導し政府に働きかけます。ドイツの会員は、運営、モニタリング、効果を検証するための技術的及び事務的な専門知識を提供しています。最終的にはドイツ連邦経済協力開発省に資金提供を申請し、国家プロジェクトとなったようです。

9ページの最後には母子の健康を向上させる実践の場として現在妊産婦死亡率23%、新生児死亡率11%を占めるナイジェリアほどふさわしい所はありませんとあります。つまり、もし日本が同様の関わり方を望むのであれば発展途上国の母子健康保険向上を目指す協力者としての立場しかありません。

10ページには活動の具体的な内容が紹介されていますが、時間の関係で省かせていただきます。

11ページには大規模プログラムに挑戦しませんかと題してその条件が記されています。あきらめずにも探していれば、いつかは実現するものもあるかもしれません。12ページ、13ページには最終選考に残ったプログラムとして「ツェハイは勉強が大好き」と題する発展途上国における識字率の向上を目的としたプログラム、認知症ケアと題して、先進国における認知症ケアのプログラムが紹介されています。

13ページ中段に太字で書かれている「高齢者の方々が刺激的で楽しく、一人一人に合った活動に取り組む姿を見るのを楽しみにしています。認知症が恥ずべき病気だという認識はもはや過去のものとなるのです」という記載は現在の認知症に対する認識として一般的なものだと思うので参考にされると良いと思います。

次に30ページから9月号に続く第2回として70~80年代のロータリーの友が紹介されています。いろいろ懐かしい感じの写真が並んでおり目を引きますが、その中で31ページの上の方で72年2月の札幌オリンピックでは、聖火台が全国ロータリアンの寄付で真駒内屋外競技場に寄贈されました、とあります。古いロータリアンの方はご存知だったかもしれませんが、私は驚きました。

次に縦組みの4ページですが、麗澤大学前学長の中山理さんの話が紹介されています。2021年11月6日の国際ロータリー2790地区の地区財団学友50周年記念式典の基調講演の要旨ということですので、直接お聞きになった方も多いのかもしれませんが、私は初めてで興味深く拝見しました。

まずは4ページからロータリー財団の奨学生として過

ごしたイギリスの思い出が楽しく記載されています。その最後のあたりですが、私の知的座標軸、専攻は財団奨学生の頃は英文学でしたが、途中で「品性教育」に非常に興味を持ちました。日本では一般的に道徳教育といわれますが、海外ではキャラクター・エディケーションと呼ばれています。この分野で学長時代に世界で講演したり学会に参加していたそうです。

次に日本の社会に根付く道徳観と絆と題しての部分でこの話の概要が語られています。講演が3本柱になっていること、1番目としてベトナムでの経験、2番目がボストン大学訪問とそこでのシンポジウムの話、3番目がダライ・ラマ法王との対話です。

まずベトナムの話ですが、ベトナムで講演したときホーチミン市国家大学の教授の友人から「どうして日本が第2次世界大戦の敗戦から立ち直り世界の経済大国になったのか」と質問されたそうです。世界でも奇跡といわれる復興の原動力は何だったのか、自国の復興が思うようにならないための質問だったのでしょうか。それに対し中山氏は日本の長寿企業の話を持ち出しています。6ページの冒頭から原文をそのまま読むと「企業の社会的責任」を当時から既に果たし、すなわち道徳と経済を一体と考え企業活動を進めていた、ということなのです。ただ単にモノを売るのではなく、倫理的な物差し、教訓、家訓というものを持つ企業として活動してきたのだというお話です。そのような企業はたとえ世界レベルの敗戦を経験しても復興可能なのだと紹介したのです。

さらに上段真ん中辺りですが、創業200年以上の企業が世界で一番多いのは日本であることが紹介されています。そんな長寿企業の96%が中小企業なのだそうです。利益至上主義ではなく、日本型の経営は製品、サービス、品質の向上を常に目標とし、株主だけでなく従業員、顧客なども重視しています。道徳的経営理念を堅持しているから長生きなのだそうです。

次にボストン大学での話です。この時ボストン大学の人格教育の専門家から「どうして日本人は東日本大震災のような甚大な災害を被ったにも関わらず、そんな非常時でも礼儀正しくふるまえるのか」と質問されたようです。アメリカではハリケーンカトリーナによりニューオーリンズが甚大な被害を被りました。1,300人ほどが亡くなっています。アメリカでは被災地は無法化し略奪などが起きて、最終的に軍隊が出動しないと収まりがつかなかったそうです。一方日本の避難所では列を作ってお弁当をもらう、なければみんなで分かち合うというのが普通です。もちろん多少の混乱もあったとは思いますが、大きな問題にはなっていません。アメリカからも海兵隊がレスキューに来てくれたそうですが、日本人が丁寧に感謝の言葉を述べるのに感激したそうです。空から見えるように浜辺に「ありがとう」と津波のがれきでローマ字でつづったそうです。

ダライ・ラマの話も興味深いのですが、時間も限られているので省略します。

最後に縦組み13ページに今どきの探偵業という題で小文が紹介されています。やはり依頼内容の8~9割が浮気調査だそうです。皆さん気を付けましょう。ちなみに職業分類で探してみたのですが探偵業というのはありませんでした。どなたかご存知でしたら教えてください。以上ロータリーの友11月号の紹介でした。

自己紹介

濱田重工株式会社 君津支店
江藤 隆 会員

皆様、こんにちは!先日、株式会社イノセの猪瀬様よりご紹介をいただきました濱田重工株式会社の江藤です。この度、君津ロータリークラブに入会させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。



早速ですが、自己紹介をさせていただきますと思います。

昭和43年3月生まれで、年は54歳です。神奈川県横浜市戸塚区という街で生まれ、中学1年の途中までそこで過ごしました。横浜生まれということ、大都会出身のように思われるかもしれませんが、実際はそんなことは全くなくて、当時は山あり川ありの自然豊かな土地でしたので、カブトムシを取ったり、ザリガニを釣ったりして遊びまわるような幼少期を過ごしました。

父の転勤で、中学の時に福岡県北九州市に移り住み、大学卒業までそこで暮らしました。北九州市は君津と同じで海に面した街ですが、魚が釣れる波止場がたくさんありまして、毎週のように魚釣りに行くような学生時代を過ごしておりました。(今思うと遊んでばかりですね)

大学卒業後は広島県福山市にある企業に一度就職しましたが、そこを退社して北九州に戻り、1996年の今から26年程前から濱田重工に勤めております。この26年の間に北九州で10年、大分で8年を過ごし、そしてこの君津に赴任して8年半になります。

大した趣味はございませんが、月に1~2度ドライブや山歩きをしています。「山登り」ではなく「山歩き」と申し上げているのは、自分が登る山が大抵半日で山頂まで行って降りられるような低い山ばかりだからですが、それでも季節ごとの景色や空気が味わえますし、山歩きをした後に食べる食事をもたまた楽しみの一つになっています。君津の山と言えば三船山ですが、ここにも良く足を運んでいます。春は桜、初夏は蛍、夏は蝉しぐれ、秋は紅葉、冬は静けさ…、いつ行っても魅

力的な山なので気に入っています。君津市の周辺で、他にもお勧めのスポットがありましたら、教えていただけたら幸いです。

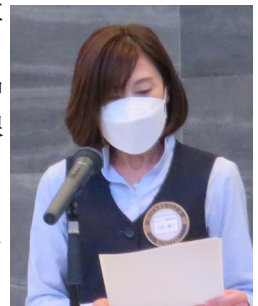
今回、初めてロータリークラブに入会させていただくにあたり、ロータリーの目的や四つのテストに基づいて社会に貢献、奉仕されていることを勉強させていただきました。まずは皆様とお知り合いになり、活動の輪に加わらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

会員卓話

「働き方改革」の取り組みについて
~人生100年時代~

川村 優子 会員

2019年4月1日より働き方改革の一部が施行され、現在「働き方改革」は大企業だけでなく中小企業にとっても重要な経営課題の一つとして世の中に認知されております。



厚生労働省が2019年に発表した定義によれば「働き方改革」とは、働く人々が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で「選択」できるようにするための改革とされています。

近年、日本が直面している「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」や「働くスタイルの多様化」など、課題や変化に企業は対応していく必要があり、そのためには労働生産性の向上や従業員満足度向上を実現する環境作りが求められています。

一方で「そもそも働き方改革とは具体的に、どのようなものなのか」「どのような対策を企業は取っていけば良いのか」といった疑問をお持ちの方もいらっしゃるかと思います。

背景には深刻な労働力不足があり、労働力不足の解消をするためには、3つの対応策が考えられます。

1. 働き手を増やすこと、労働市場に参加していない女性や高齢者に働いてもらう
2. 出生率を上げて将来の働き手を増やす
3. 労働生産性を上げる

また、これらを実現するためには3つの課題があります。

- ①長時間労働の解消
- ②非正規社員の格差是正
- ③高齢者の就労促進

長時間労働の解消は弊社としても課題になっており、労働力不足により一人一人の負担が多くなりがちです。管制担当としては、新規の隊員を入れるよりも慣れた者が決まった現場に行かせたいため、ずっと配置をしてしまい、結果として休みが取れない状態になるので別の者がチェックをしてオーバーしないようにしています。

非正規社員の格差是正は、警備員のアルバイトと正社員の給料や働き方の格差は限界がありますが、その都度対応しております。

高齢者の就労促進については、就業規則の定年を60歳から66歳に引き上げました。弊社は65歳以上が70%以上占め、主力の年齢層となっております。

弊社の働き方改革のまとめとして、従業員全員が健康で長期にわたり働ける取り組み、そして魅力ある会社づくりです。

何事にも健康が第一なので、教育時には従業員が興味を持って楽しくできる工夫をしています。従業員に好評だった教育は、テックスエンジさんから紹介していただき君津健康センターより講師を招いての食生活の講習、体力年齢の講習です。食生活では、「肉魚野菜の栄養は?」「血糖値の上昇を抑えるには?」など自分に置き換えて興味を持って聞いていました。

体力年齢の講習は、体を動かして自分年齢と体力年齢の認識をしてみようと、目をつぶって片足を上げ両手を水平にのばし何秒できるか、また、距離を作り何歩でゴールできるか行くと警備員同士競い合っても盛り上がりましたし、自分の今の体力がどの程度か再確認する良い機会となりました。

そして、もう一つの取り組みは健康診断の実施です。当たり前のことですが年一回健康診断の実施、夜勤者は年二回実施しております。所見がある者は産業医との面談もごさいますがそのままにせず、担当者がヒアリングをして必要に応じて医療機関への受診や前年度と見比べて日常の生活習慣改善を行い、定期的に経過を確認します。

このように、健康管理を行い全社員が健康で働くことが働き方改革に繋がると考えております。

内輪の話となりますが、おかげさまで今年で30周年を迎えることになりました。7月に記念式典を開催し永年勤続者、優秀警備員の表彰を行いました。また、いつもより少し豪華なお弁当を用意し、記念のクオカードを作りささやかではございますが、社内で祝うことができました。

魅力ある会社づくりにはほど遠いですが、社員と共にこれからもいきいきと働けるよう、新しいことにもチャレンジして成長したいと考えております。

皆さんの会社での働き方改革でよい事例がございましたら是非、教えていただきたいと思っております。本日はご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

大浦 芳弘 11月最後の例会です。今年も残すところ1か月余り、早いですね。来年こそはコロナ禍から開放されると願っていますが、うまく付き合っていくしかないのでしょうか。基本的な感染症対策の徹底を図り、ロータリー活動に注力します。

大川 裕士 22日の駅前花壇花植え活動に参加されました会員の皆様、ご協力ありがとうございました。参加できず申し訳ありませんでした。26日の情報研修会に参加されました武田会長始め会員の皆様ありがとうございました。秋山会員、報告ありがとうございます。

内山貴美子 先週は花植えお疲れ様でした。川村様、本日は卓話ありがとうございました。

松浦 広樹 先日、コロナに感染してしまいました。幸い家族への感染拡大は防ぐことができましたが、まだ肺が苦しい状態です。皆様、お気を付けてください。

秋山 大輔 川村会員、貴重な卓話をありがとうございました。

倉繁 裕 ワールドカップサッカー、グループリーグ第2戦、日本が攻勢を保つ中、守りの唯一ともいえるミスに付け込まれて1点を失ったあと、ドイツ戦のように逆転なりませんでした。次のスペイン戦にはさらなる奮起、勝利を願っています。

藤田 章博 先週は駅前ロータリーの花植え作業お疲れ様でした!楽しい時間を過ごすことができました。江藤会員、今後ともよろしく願いいたします!!

馬場 孝弘 サッカーW杯、昨日は残念でしたが、日本のサポーターの行動は素晴らしいものでした。私も何事も行動にうつせる様にしていきたいと思う次第です。

高島 俊治 先日、神宮外苑のイチョウ並木の紅葉と皇居乾通りの一般公開に行ってきました。乾通りの公開は、3年ぶりに行われたとのことで、多数の来場者でした。急に寒くなったので、大変綺麗に色づいていました。

秋元 政寛 川村会員、卓話ありがとうございました。

した。人生100年時代に向けて仕事も健康も生きがいも充実させていきたいと思います。

安田 学 サッカー日本代表残念でした。最終戦頑張って勝ってもらいたいと願っています。

山内 雅夫 今年もあとひと月となりました。今年、やろうとしてできたこと、できなかったことを自分なりに振り返り、来年の活動を計画していきたいと思っています。この計画の中に、ロータリークラブの活動も組み込んでいきます。駅前花壇の花植え作業お疲れ様でした。

坂本 直樹 川村会員、本日は会員卓話ありがとうございました。江藤会員、これから共にロータリー活動頑張りましょう。

大森 俊介 先週の花植えお疲れ様でした。非常に綺麗に植えられていて駅前が華やかになりました。川村会員、卓話ありがとうございました。

谷 浩司 昨日、3年ぶりに同業者の仲の良い方とゴルフに行ってきました。紅葉が所々綺麗でしたが、体中がバキバキでプレー後の浴室にいく階段も上がるのに途中で休もうかと思いましたが、練習だけでも定期的に続けることが大事だと教わりました。

中野 賢二 先週花植えを行った駅前花壇のスノーポールがようやく開花し始めました。2週間後が楽しみです。

隈元 雅博 川村会員、素敵な卓話をありがとうございました。モルックアジア大会を設営された会員の皆様、お疲れ様でした。これからも世界平和と地域貢献のためにロータリー活動を頑張ります!

高橋 雄一 お世話になります。川村会員!たくなる卓話ありがとうございます。

平野 寛明 本日は所用で早退します。

江藤 隆 本日、入会の挨拶をさせていただきました。よろしく願いいたします。

篠塚 知美 川村会員、貴重な卓話ありがとうございました。江藤会員、自己紹介ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。



駅前花壇の花植えの様子 (R4.11.22)

